



東小だより

やさしく かしこく たくましい 東っ子 (文責 竹市 富夫)

第3号

桐生市立東小学校

令和5年6月23日

(文責 竹市 富夫)

東小の「お宝」が増えました！ ～80年前の6年生：竹下さんの「絵日記」～

すでに地元新聞に何度か掲載されて知っている方が多いと思われる、「絵日記」について紹介いたします。絵日記は昭和17年、当時の東国民学校6年3組竹下禎祐さんがひと夏の思い出を10の絵であざやかに綴った絵巻物です。

昨年の桐生タイムス「学びのモノがたり」(8月10日付)に掲載された東小の「当宿直日誌」の東使先生の筆跡を見つけた孫の小島さんから始まる「人とのつながり」は、「絵のもつ力」が結びつけた感動するストーリーとなりました。経緯を以下にまとめます。

①3年前に竹下さんの当時の担任：東使兵四郎先生の遺品を整理していた小島さんが「絵日記」を見つけ、記事の掲載をきっかけに昨年10月に東小を訪問し、



6/2金 全校朝会で紹介

鈴木校長(前任)に「絵日記」を寄贈する。②2月、当時の校長が傷んでいた「絵日記」の保存について、読み聞かせボランティアの馬場さんに相談し、書道教室を開いている義母を介して、千葉の表具店で絵巻物に表装されて3月に東小に戻る。③5月、桐生タイムスにこの経緯が紹介されると、作者の竹下さんの娘の鶴谷さんにもつながる。④6月14日に、小島さん・鶴谷さん・馬場さん・竹下さんの同級生が絵日記を実際に見ながら対面することができた。(すでに東使先生や竹下さんは故人である。)



6/14水 関係者が対面

校内では、6月2日の全校朝会で、子どもたちに実際の「絵日記」を紹介し、「当時の6年生が描いたのびのびとした明るいタッチ」や「多くの人がつないだ思い」などを話しました。すべてのことが東小とつながりのある方が関わり、歴史と伝統のある東小の新たな宝物になりました。大切に引き継いでいきたいと思えます。会議室前の廊下に関係する資料を掲示しています。

校庭にバスケットゴールを設置しました。大切に活用しましょう。

昨年度から、設置の検討を進めていたバスケットボールのゴールが届き、設置が完了しました。今まで校庭にはバスケット用のゴールがない中で、子どもたちは雲梯をゴールに見立て遊んでいる様子が見られました。安全面などにも配慮し、場所は、校庭南側の元の正門近くの防球ネット用の電柱に転倒防止のロープをつないで固定しました。6年生にルールを話し合ってもらい、仲良く活用できるようにしたいと思います。



6/20 バスケットゴール